

I 調査の実施概要

1 調査の目的

市民の人権や地域福祉、児童福祉、高齢福祉、障がい福祉などの福祉領域についての意見や評価を、意識調査により統計的に把握し、今後の市政を推進するための基礎資料とすることを目的に調査を実施した。

2 調査の設計

- 調査地域:甲賀市全域
- 調査対象:市内在住の18歳以上の男女
- 調査標本数:3,000人
- 調査抽出法:層化二段無作為抽出法(抽出台帳:住民基本台帳、旧町5地域別)
- 調査方法:郵送配布・郵送回収、またはインターネットによる回答
- 調査時期:令和2年9月1日～9月15日

3 調査票の配布・回収の状況

- 配布数:3,000件
- 回収件数(率):1,220件(40.7%)
- 有効回答数(率):1,220件(40.7%)
うち郵送回収:1,039件(83.3%)、インターネット回答181件(14.5%)

4 標本抽出計画と集計に当たっての整理事項

① 標本抽出計画と集計母数(集計対象数)

今回の調査では、アンケート調査配布数(標本数)を市内5地域と母集団構成比に応じて配分した。地域別の回収率は甲賀地域が50.1%で最も多く、以下、土山地域が46.1%、甲南地域が42.0%、信楽地域が38.6%、水口地域が36.6%と続いている。すべての地域で前回調査よりも回収率が高くなっている。

有効回答の構成比と母集団構成比をみると、有効回答の地域区分は母集団構成比に近い。

	標本抽出計画				有効回答			前回回収率
	母集団	母集団構成比	抽出標本数	標本構成比	回収数	構成比	回収率	
水口地域	33,840	44.5	1,337	44.6	489	40.1	36.6	34.9
土山地域	6,463	8.5	254	8.5	117	9.6	46.1	44.6
甲賀地域	8,502	11.2	335	11.2	168	13.8	50.1	48.2
甲南地域	17,299	22.8	683	22.8	287	23.5	42.0	41.2
信楽地域	9,889	13.0	391	13.0	151	12.4	38.6	40.5
不明・無回答	-	-	-	-	8	0.7	-	-
合計	75,993		3,000		1,220	100.0	40.7	39.5

年代別の回収率は60歳代が51.7%で最も多く、以下、70歳以上が51.6%、50歳代が45.1%、40歳代が30.8%、30歳代が29.9%、20歳代以下が24.9%と続いている。

有効回答の構成比と母集団構成比をみると、有効回答は年齢層が高い構成であることがわかる。

	標本抽出計画				有効回答			前回回収率
	母集団	母集団構成比	抽出標本数	標本構成比	回収数	構成比	回収率	
20歳代以下	10,993	14.5	434	14.5	108	8.9	24.9	19.0
30歳代	10170	13.4	402	13.4	120	9.8	29.9	30.5
40歳代	12736	16.8	503	16.8	155	12.7	30.8	30.5
50歳代	11224	14.8	443	14.8	200	16.4	45.1	38.9
60歳代	11791	15.5	464	15.5	240	19.7	51.7	51.9
70歳以上	19079	25.1	754	25.1	389	31.9	51.6	55.5
不明・無回答	-	-	-	-	8	0.7	-	-
合計	75,993	-	3,000	-	1,220	100.0	40.7	39.5

② 調査結果の精度

今回の調査は標本調査のため、本結果から甲賀市の18歳以上の人口(母集団)の意識や要望等を推定することができる。ただし、今回の結果が抽出調査のため、数字の誤差を考慮する必要がある。そこで、どの程度の誤差があるのかを以下の数式で求めた。

世論調査では、信頼度95%(同じ調査を対象を変えて行った場合に、100回中95回は同様の結果が得られると考えてもよい)の水準を求めることが一般的とされており、これに基づき、今回の調査における標本測定値の標本誤差を算出した。その結果、標本誤差=2.78%(小数第3位四捨五入)となり、母集団の回答は今回のアンケート調査結果の±2.78%の区間に95%の確率で存在すると言える。

$$\varepsilon = \pm 1.96 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

ε：標本誤差

±1.96：信頼度95%の時の係数

N：母集団数(調査時点の甲賀市の18歳以上人口：75,993) n：標本数(有効回答数：1,220)

P：標本測定値0.5(50%(0.5)のときに最大となるため0.5で計算)

5 本報告書における集計方法、数値の取り扱いについて

- ・ 回答結果は、各項目の不明を含む有効サンプル数に対する百分比(%)で示し、百分比は小数点第2位を四捨五入して小数点第1位までを表示している。そのため、単数回答(複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式)であっても合計値が100.0%にならない場合がある。
- ・ 複数回答(複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式)の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの比率を示している。そのため、合計が100.0%を超える場合がある。
- ・ 図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が著しく困難なものである。
- ・ 図表中の「N」は集計対象者総数または、回答者限定設問の限定条件への該当者数を示している。